

生涯学習



全国青年大会 合唱最優秀賞

11月10日(土)、日本青年館ホールで開催された第67回全国青年大会に、黒川郡連合青年団が芸能文化の部合唱の県代表として出場し、最優秀賞を受賞しました。



▲左より団長の秋原さんと副団長の伊藤さん

大衡村文化協会 発表会開催

11月25日(日)、中学校講堂で第32回文化協会発表会が開催されました。舞踊や社交ダンス、歌謡、民謡、オカリナ演奏など日頃の稽古の成果が披露され、100人を超える来場者から大きな拍手が送られました。

また、手芸作品や写真の展示、茶道裏千家梅乃会によるお茶も振舞われました。



発表会の締めくくりとして、恒例の出演者全員による万葉おひら音頭が披露され、出演者と来場者は芸術文化を楽しみました。

大衡村の歴史

4

仙台藩政期の旧五カ村

寛永20年(1643年)に仙台藩二代藩主忠宗の指令による領内の総検地が行われ、大瓜村・大衡村・駒場村・大森村・奥田村が正式に設定されました。

【大瓜村】

地形が大きく折れ曲がっているのが「大折」と呼ばれました。安永3年(1774年)に戸数70戸、人口373人で、明治10年代に編さんされた「黒川郡地誌」には、92戸、724人と記載されています。

村で一番高い山である達居森には、達居屋敷があり大瓜地区藤ノ沢地内の断崖上にあった大瓜古城「折口館」の見張所でした。

貴船神社は、元禄12年(1699年)に本殿が建立され、お産の際にご利益があるといわれる木で作った小船が奉納されています。

【大衡村】

天正時代(1570年代)の検地帳には「大平村」と表記されています。明和8年(1771年)に戸数58戸、人口431人、明治10年代に104戸、815人と記載されています。



▲大衡八幡神社

大衡城主大衡治部大輔の鎮守であった大衡八幡神社は、当時大衡城の本丸にあり、文政元年(1818年)、現在の大衡字八幡地内に移されました。

【駒場村】

地名の由来は、源頼朝が平泉を攻める際に、須岐神社の境内に駒(馬)を留め、兵士を労ったことによると伝えられています。明和8年(1771年)



▲須岐神社

71年)に戸数32戸(人口は帳の損により不明)、明治10年代に38戸、302人と記載されています。

須岐神社は延長5年(927年)に「官社」に指定されていた神社を一覧にまとめた延喜式神名帳記載の黒川郡の代表的4社のうちの1社で、祈願や報謝のため馬が奉納され、後に絵馬が奉納されるようになりました。現在も、その当時奉納された多数の絵馬を見ることができます。

【大森村】

天正18年(1590年)の「黒川之内大森検地帳」に大森という地名が記載されており、安永3年(1774年)に戸数27戸、人口148人、明治10年代に29戸、236人と記載

公民館図書コーナー

◆問い合わせ先 公民館 ☎345-2197

おすすめブック



思い出が消えないうちに 川口俊和 著



十二支のおはなし 内田麟太郎 著



インフルエンザ対策!! スバリこの一冊で大丈夫 大西正夫 著

おはなし会のお知らせ

絵本の読み聞かせや紙芝居を演じる「おはなし会」を開催しますので、お気軽にご参加ください。

- ◆日時 1月25日(金) 午後1時
- ◆場所 公民館図書コーナー



本の貸し出し

○図書コーナーの本は1人5冊以内、2週間まで借りられます。
○貸出受付は公民館事務室で平日の午前8時30分から午後5時15分まで行っています。